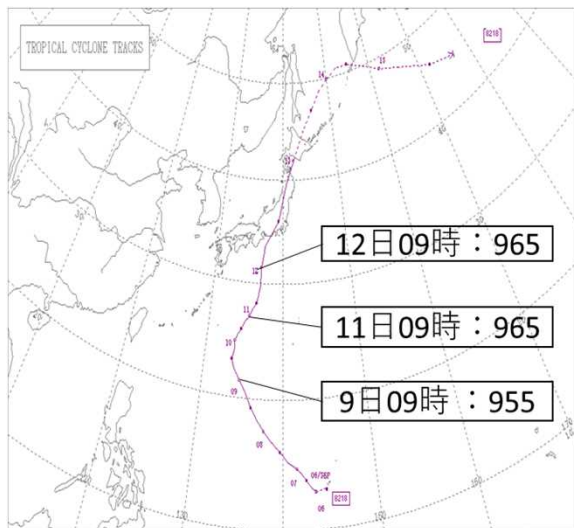


### 台風第18号が東日本を縦断 県内各地で大雨 信濃川・阿賀野川で氾濫

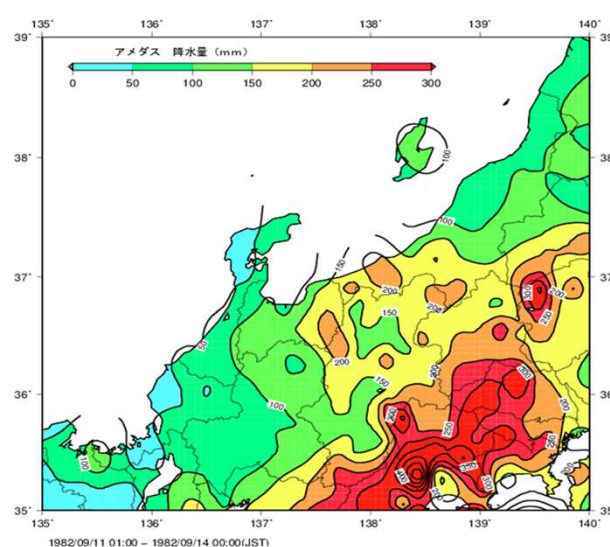
#### 【概要】

昭和57(1982)年9月、台風第18号が日本の南から北上し、12時18時に静岡県御前崎付近に上陸したのち東日本から東北地方を縦断した。一方、本州南岸には前線が停滞しており、台風の北上に伴って北上した。この前線と台風第18号の影響により新潟県では上越を中心に大雨となり、11日から13日までの期間降水量は、上越市能生で242.0ミリ、糸魚川市平岩で226.0ミリを観測した。また、信濃川流域の十日町市十日町で168ミリ(12日の日降水量が歴代2位)の雨を観測したほか、上流の長野県千曲川流域でも150から200ミリの雨を観測した。

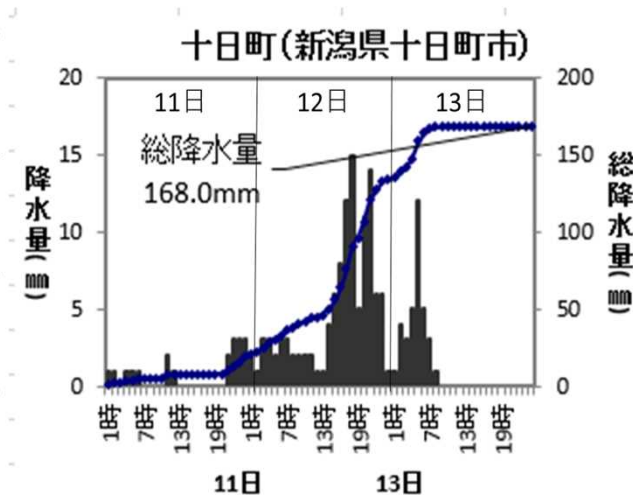
この大雨により十日町市と小千谷市を流れる信濃川及び上流部の千曲川で氾濫が発生したほか、阿賀野川でも氾濫が発生し、十日町市、小千谷市を中心に県内で約5,000棟の住宅が浸水した。また、上越市では70メートルにわたり道路が流出した。(被害状況：災害時気象速報、読売新聞より)



台風経路図  
(数値は気圧(単位はhPa))



アメダス期間降水量分布図  
(1982年9月11日1時から13日24時)



アメダス十日町の降水量時系列  
(1982年9月11日から13日)